

# 歓迎の笑顔ポスターに

サッカーのワールドカップ(W杯)の開催地の神戸市などをつくるW杯神戸開催推進委員会は、選手や観戦に訪れる世界各国の人たちを温かく迎えようと、市民の笑顔の写真を使ったポスターの制作を始めた。個人ごとや家族ごとに計約200種類を作る計画で、19日には市内に住む外国人らがW杯会場の神戸ウイングスタジアムで撮影に臨んだ。

## 市民モデルに撮影開始

## メッセージ 200種類を計画

ポスターのモデルになる市民は、スタジアム周辺の食堂の店員や駅員、タクシー運転手、少年サッカーチームのメンバー、ボランティアなどさまざまな。 「Merry(幸せ)」をテーマに、各地で笑顔の撮影を続ける東京在住のアートディレクター、水谷孝次さん(50)が撮影する。



W杯の公式球を手に、笑顔で撮影に応じるフォーセルさん一家＝神戸市兵庫区の神戸ウイングスタジアムで

この日は、神戸で試合をするチュニジア、スウェーデンの両国人で、市内に住む家族ら約10人が参加。家族5人で来たスウェーデン人の木材輸入

会社長ピーター・フォーセルさん(38)は「こんなに大きなスタジアムで撮影してもらい、子どもたちも幸せそうです。サッカーはスウェーデンでも人気スポーツで、スウェーデンと日本が勝ち進んで対戦できるといいですね」と話していた。

ポスターは縦約1尺、横約70センチ。1人ひとりの笑顔の写真の下に「私たちが好きなサッカーが好きです」「サッカーを一緒に楽しみたい」などと、サッカーやW杯に寄せる自筆のメッセージを添える。完成したポスターは3月29日から4月7日まで、同市中央区東川崎町1丁目のデユオコウベで一堂に展示するほか、W杯の期間中はJR三ノ宮駅周辺などの市中心部で展示する。同市は笑顔のポスターで「阪神大震災で受けた国内外からの支援に感謝し、復興へ歩む市民のエネルギー、開催地の温かさを伝えたい」と話している。

## 30種類は公募

約200種類のうち約30種類について、モデルを一般公募する。2月1日から同15日まで(必着)に、はがきに「Merry希望」と明記の上、住所、氏名、電話番号などを書いて、〒650・8570 神戸市中央区加納町6の5の1、ワールド



ドカップ神戸開催推進委員会「Merryの係」へ。問い合わせは同市W杯推進室(078・322・6387)へ。